

鳥取県における自転車と自動車（四輪車）の出会い頭事故について

この度、県下において自転車乗車中の高校生被害の交通死亡事故が発生したことを受け、過去5年間（平成24～28年）の自転車に関連した交通事故について分析したところ

- ① 自転車事故の相手方は自動車（四輪車）が全事故の96.0%を占める
- ② 事故類型別では出会い頭事故が59.4%を占める

との傾向が認められたことから、今回、自転車と自動車（四輪車）の出会い頭事故について分析を行いました。

- 過去5年間（平成24～28年）の自転車に関連した自動車との出会い頭事故を分析した結果、
 - ・ 負傷者は、中高生が29.5%と高率
 - ・ 登校通勤時間帯と下校帰宅時間帯に45.5%と高率
 - ・ 自転車側の法令違反が47.0%と高率
 - ・ 自転車側及び自動車側ともに道路幅員5.5m未満のいわゆる生活道路の交差点において、101件発生
 - ・ 自転車側の負傷部位は頭部が死者9人中6人（66.7%）と高率
 等の傾向が認められました。
- 県民の皆様には、
 - ・ 「鳥取県支え愛交通安全条例」（平成28年10月施行）では、事故時の被害軽減のため、自転車利用者は、ヘルメットの着用等に努めるよう規定されていることから、全ての年代においてヘルメットを着用する
 - ・ 自転車を利用者は、改めて自転車の交通ルールを遵守していただく
 - ・ 車両の運転者は、歩行者や自転車利用者に対する思いやり運転を心がける
 - ・ 交差点を通過する際には、周囲の状況をよく確認の上、徐行や一時停止を徹底する
 - ・ 梅雨期ですが、自転車利用者は傘さし運転はせず、合羽等を着用する
 ようお願いします。

1 自転車事故発生状況

（1）自転車に関連した当事者種類別の死傷事故件数（全て過去5年（H24～H28）の合計）



- 過去5年間（H24～H28）で、自転車に関連する交通事故は759件発生
- 自転車の衝突相手として自動車（四輪車）が729件（96.0%）を占め、二輪車や自転車、歩行者等と比べて圧倒的に高率

（2）自転車と自動車（四輪車）の事故における事故類型別の件数・死傷者数

[件数:729件]



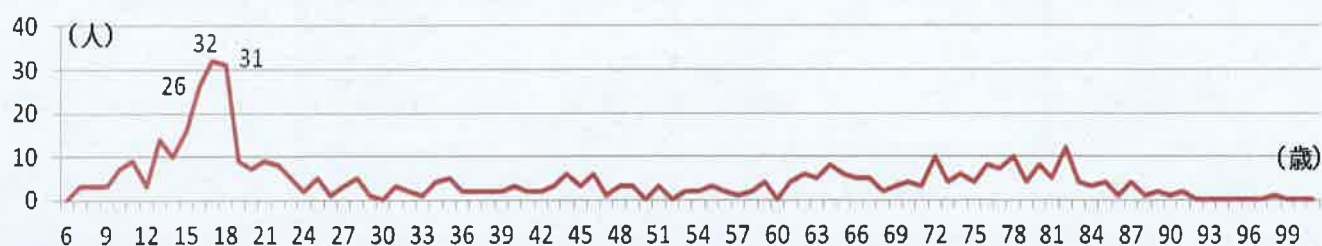
[自転車乗車中の死傷者数:735人]



- 自動車と自転車の事故729件中、出会い頭が433件（59.4%）と最多
- 自転車乗車中の死傷者735人中、出会い頭が438人（59.6%）と最多

2 自転車と自動車（四輪車）の出会い頭事故の発生状況等

(1) 年代別で見た自転車乗車中の死傷者数



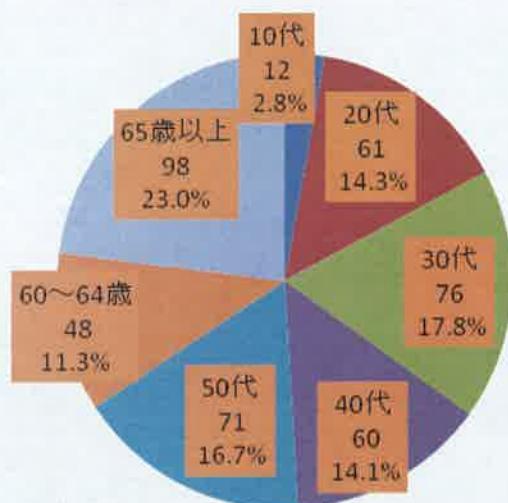
- 自転車乗車中の死傷者438人中、16歳が32人（7.3%）と最多。次いで、17歳が31人（7.1%）、15歳が26人（5.9%）

(2) 学年別・年代別の自転車乗車中の死傷者数

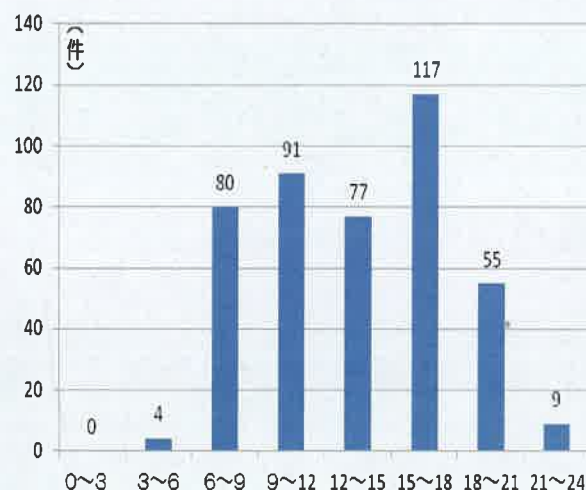
	幼児	小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3	高1	高2	高3	その他年少	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60～64	65～74	75歳以上	合計
死傷者数	2	3	1	8	7	5	6	14	16	11	35	34	19	12	39	26	29	19	29	46	77	438
うち死者						1													1	2	5	9

- 学年別で見ると、中学1年から増加し、高校生が88人（20.1%）、次いで中学生が41人（9.4%）と多数
- 死傷者438人中、高齢者（65歳以上のものをいう。以下同じ。）が123人（28.1%）を占め、また死者9人中7人（77.8%）が高齢者

(3) 自動車側の年齢層別構成割合



(4) 時間別発生状況



- 高齢者が98件（23.0%）と高い割合の一方、全ての年代で事故割合はほぼ均等でどの年代においても事故が起きる可能性が高い（不明7件を除く。）
- 登校通勤時間帯（6～9時）・下校帰宅時間帯（15～18時）に197件（45.5%）と高率

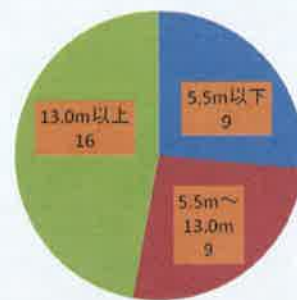
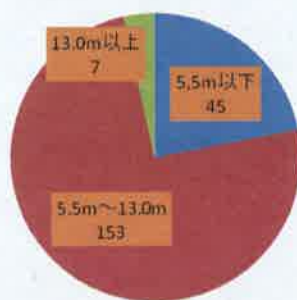
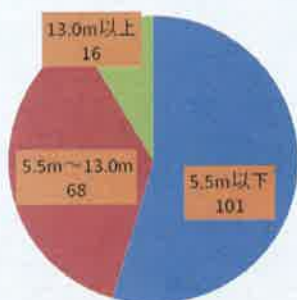
(5) 自転車側の法令違反状況

違反あり									違反なし	合計
信号無視	右側通行	交差点安全進行義務違反	指定場所一時不停止	前方不注意	動静不注視	安全不確認	予測不適	その他の違反		
15	10	67	18	1	7	66	2	20		
206									232	438

- 自転車側の206人（47.0%）に法令違反があり、交差点安全進行義務違反が67人（32.5%）と最多で、次いで安全不確認が66人（32.0%）

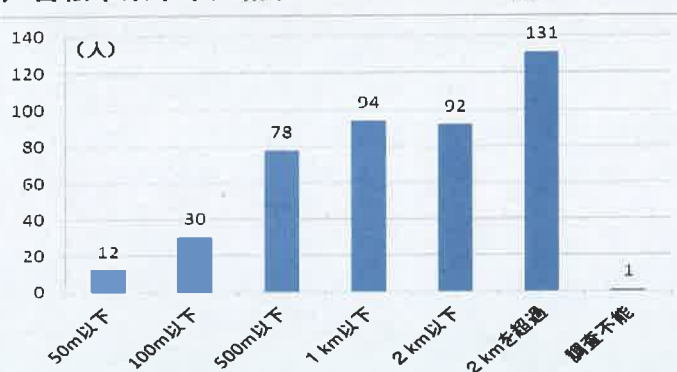
(6) 自動車側から見た事故交差点の道路幅員（交差点以外の事故9件を除く）

ア 自転車側5.5m未満道路 (185件) イ 自転車側5.5m～13.0m未満道路 (205件) ウ 自転車側13.0m以上道路 (34件)



- 自転車側及び自動車側ともに道路幅員5.5m未満のいわゆる生活道路の交差点において101件発生
- 自転車側と自動車側が同程度の道路幅員の交差点において事故が多発

(7) 自転車乗車中死傷者の自宅からの距離



- 自宅から離れるにつれて死傷者数が増加

(8) 自転車側の負傷部位

	全身	頭部	顔部	頸部	胸部	腹部	背部	腰部	腕部	脚部	合計
死亡	1	6		1		1					9
重傷		22	10	7	21	1		11	14	38	124
軽傷		55	17	49	17	3	2	25	43	94	305
合計	1	83	27	57	38	5	2	36	57	132	438
構成割合	0.2%	18.9%	6.2%	13.0%	8.7%	1.1%	0.5%	8.2%	13.0%	30.1%	100.0%

(9) 自転車側のヘルメット着用状況

	死者数	重傷者数	軽傷者数	合計
着用	1	12	27	40
非着用	8	107	275	390
着用不明	0	4	4	8
合計	9	123	306	438

- 頭部の負傷が死者9人中、6人(66.7%)と高率で、負傷部位の構成割合も脚部30.1%に次いで18.9%と高率
- 死者9人中8人(88.9%)がヘルメット非着用
- 非着用が390人(89.0%)と高率